



創立148周年

7月号 (令和3年6月30日発行)

鉄小だより

横浜市立鉄小学校

くろしよ 鉄小ならではの、「全校田植え」

副校長 本間 秀司

梅雨の晴れ間の青空は、すっかり夏色になりました。木々の葉も青々と色づき、蒸し暑い日が続いています。

ご挨拶が遅れて申し訳ございません。4月に本校に着任いたしました、副校長の本間秀司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

鉄小学校に着任して、初めに思ったことは、とても明るく礼儀正しい子どもたち、微笑みながら見守ってくださる保護者の皆様、そして、教育活動に多くのご支援とご協力くださる地域の皆様の姿でした。学習にしっかりと取り組み、健やかに育っている子どもたちの姿が、先日田植えをした苗の育ちと重なって見えます。

今年も6月8日に全校で田植えを行いました。5年生が種もみから大切に育ててきた苗を一株ずつ丁寧に植えることができました。田植えの際には坂田清一様、静江様のご指導のもと、多くの保護者のボランティアの皆様のご協力に支えられ、子どもたちは土の感触を十分に楽しみながら活動することができました。ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。子どもたちが植えた苗は、本格的な夏に向かって、子どもたちの思いとともに、しっかりと根を張り、すくすくと育っていくことと思います。

横浜市内の学校でも、5年社会科の学習として多くの学校が米作りに取り組んでいます。それは、バケツ稲であったり、学校の花壇を田んぼに転用したり、地域の田を借りて行ったりしています。しかし、塩水を使って種もみを選り分ける「塩水選」から始まり、育苗、田植え、稲刈り、脱穀までの一連の過程を全校児童が関わり稲作に取り組んでいる学校は少数です。私も前任校では鉄小学校の田んぼの4分の1の大きさほどでしたが学校近くに借り、5年生が稲作に取り組みました。そこでも児童にとっては貴重な体験だと思いましたが、鉄小学校は、学校教育目標にある「まちにふれ、土に親しみ、人から学び、ともにのびゆく鉄の子」を育てる素晴らしい取組であると実感しました。豊かな実りを迎える秋になるまで、水の管理や草刈りなどいろいろな作業が続きます。それぞれの学年で、みんなで力を合わせてしっかりと取り組んでくれると思います。

学校、保護者、地域が一体となって教育活動を進めていくことができるように、これからもご支援のほど、よろしくお願いいたします。

ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 森 愛子

全面改修工事を終え、真新しい体育館での初めての入学式、今年是一般級2クラス、個別支援学級3・4組、合わせて39名の1年生を迎えました。入学式に先立ち、着任式・始業式を行い、全校児童167名での新たな1年が始まります。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、出席者が限られる中、鉄小の自慢である全校児童列席での入学式はできませんでしたが、在校生からのメッセージ動画と校歌紹介で、歓迎の気持ちを伝えました。1年生も笑顔で応えてくれました。

本校は、『「人とかかわり 創り出す 笑顔あふれる鉄小」～まちにふれ、土に親しみ、人から学び、ともにのびゆく鉄の子～』という学校教育目標のもと、まちとともに歩み、豊かな体験活動を展開しています。自然や人と関わり、そこから学び、成長していく子どもたちのことを多くの地域の方々が見守り、共に活動してくださっています。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、今後もマスク着用・消毒・換気・三密を避ける行動等は続きますが、必要な配慮をしつつ、稲作・梨・野菜等の栽培体験活動は、地域の方のご指導により、今年も行います。新1年生も、これから始まる鉄小での学校生活の中で、クラスの仲間、担任、たてわり活動の上級生、田植え・稲刈り・収穫祭等の行事やさつまいもの栽培活動で関わってくださる地域・PTA の皆様、教職員、支援員、学生ボランティア等多くの人と関わり、多様な学習・体験活動を重ね、一人でできることが増え、自信がつき、他者への思いやりの心が育っていくことと思います。

4月末から9月末までの予定で、校庭の夜間照明工事が入り、校庭が一部使用できなくなるため、運動会が10月となるなど、例年との変更点もあり、感染拡大の状況次第で行事の規模縮小・延期等の可能性もありますが、本校の学びの精神は、変わることはありません。多くの人に支えられながら、たくさんの「できた」経験を重ね、自己実現に向けて努力するとともに、人のことも考えられる人に成長してほしいと願います。

今年度も、教職員一同、「チーム鉄」として鉄の子どもたちのために精一杯努力して参ります。地域の皆様、保護者の皆様も「オール鉄」として、どうぞよろしく願いいたします。